

## 臨床医学研究のお知らせ

聖路加国際病院では、将来の医療を向上させるため、臨床医学研究を行っています。つきましてはご理解の上、ご協力をお願い申し上げます。なお、個人情報厳重に管理させていただきます。

研究計画や研究方法に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体の目的や進行に支障となる事項以外はお知らせすることができます。ご質問がありましたら下記連絡先にお問い合わせください。

この調査では、ご協力を拒否することも自由です。もし、研究へのデータ・試料の利用を望まない場合は、下記の連絡先までご連絡いただくか、医療スタッフへ申し出てください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

### **【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】**

住所：〒104-0044 東京都中央区明石町 9-1

電話：：03-3541-5151

担当者の所属・氏名 聖路加国際病院 腎臓内科 長浜正彦

### **【研究責任者】**

聖路加国際病院 腎臓内科 長浜正彦

## 慢性腎臓病の方に対する RAS 阻害薬処方率の分析

### 1.研究の対象

- ・2017年1月～2017年12月に当院腎臓内科に外来受診をした方でレニン-アンジオテンシン-アルドステロン阻害薬（RAS 阻害薬）処方対象となる慢性腎臓病の方

### 2.研究の目的・方法

- ・日本では、腎機能の低下を示す糸球体濾過率（GFR）が  $60\text{ml}/\text{min}/1.73\text{m}^2$  以下の慢性腎臓病患者さんが、人口の 20%にのぼると報告されています。RAS 阻害薬は慢性腎臓病患者さんに対して腎保護効果があることが知られており、日本を含めた各国のガイドラインで処方が推奨されています。しかし、慢性腎臓病患者さんにおける RAS 阻害薬処方率は決して高くないことが知られており、その理由に関して詳細に検討された報告はありません。今回、我々は当院における慢性腎臓病患者さんの RAS 阻害薬処方率を明らかにし、未処方理由の解析、改善計画の提案を行います。なお、この調査では診療録（カルテ）に記載されている内容についての調査のみとなります。
- ・調査期間は研究倫理審査委員会承認後～2020年3月31日までの予定です。

### 3.研究に用いる試料・情報の種類

- ・この臨床研究での主なデータ項目は以下となります。  
年齢、性別などの基本情報の他、一般採血検査項目、現病歴、既往歴、服薬歴 等